

わたしたちの未来のために

筑西市立関城中学校

一年 中里 瑠奈

今、私が税とは何かと考えて思いあたるのは、消費税です。そこで私は、家族に税の種類について聞いてみました。所得税、相続税、県民税、自動車税、など、消費税の他にもいろいろな税があると分かりました。

その中でも、身近に関わっているのは消費税だと思います。消費税は昨年、八パーセントから十パーセントに引き上げられました。お買い物に行って、百八円が百十円になると考えると二パーセントは大きいなと感じました。

「いやだなー。」

と書いていましたが、お父さんが、

「国を成り立たせるための税なんだよ。」

と言ってくれました。そのお父さんの一言で

「私たちが税金をはらうことで、国が成り立ち、より良い生活を送れるのではないのか。」

と考えるようになりました。

そこで私は、どんなときに、どうやって、税金を使っているのかを、家族に聞きました。

今、世界で広がっているコロナウイルス感染症と戦う医療現場の支援に、税金が使われていると分かりました。

自分のためにも、人のためにも、きちんと税金を納めることが大切だと思いました。

私たちの身近な場所であり、誰もが必要とする、道路、水道、公園や医療、福祉などの公共の場は、一人ひとりの税金が負担しています。もし、税がなかったら、医療費などいろいろなものが自己負担となってしまいます。そうしたら、今の豊かな暮らしが一変、貧しい生活をしていたかもしれません。でも今は、税があるので、充実した生活を送ることができています。

前は、税をマイナスに考えていましたが、私は、この作文を通して、プラスの方向に考え直し、これからの自分、未来の人々のために、きちんと国に税を納めていきたいと思いました。